

2018年1月号

衣類のお手入れ通信

新年明けましておめでとうございます。戌年の人は、生まれながらに誠実な人が多く、義理人情にあついとされています。また年初めはとても運気が気になりますね。私の干支、丙午は健康運は金運も大きなトラブルはなく順調に推移しますとの事^あなたの運勢は？

【スウェード、ヌバック、バックスキンの違い】

皮革製品の流行はここ数年前からずっとブームが続いていますね。特にスウェードは衣服だけにとどまらず、手袋や靴に至るまで人気が増えることはありません。ところでスウェードの語源は、フランスで流行した「ガント・ドゥ・スウェード」です。つまり「スウェーデン製の手袋」からきています。このスウェードの製法は表面の毛をはがして脂肪分を除去後、柔らかくした皮の裏側をサンドペーパーで擦って起毛させて作られたものです。当初は子羊の皮で作られていましたが、近年は子牛が主流です。起毛されていますので光沢があり、保温性も高いです。スウェードに似た種類には次のようなものがあります。

ヌバックは裏面ではなく表面を起毛させたもので、ベロアはスウェードと同じ製法ですが毛足が長いものをさします。日本ではこれらをひっくるめて、「バックスキン (BACKSKIN)」と呼びます。しかしこれは、日本で定着してしまった俗語なのです。本来、バックスキンとは鹿革のことで、「BUCKSKIN」と書きます。このふたつは特徴が正反対です。皮の裏側を起毛させたBACKSKINは水に濡れると浸み込みやすいので、雨や雪の日は着用を避けたほうがよいです。一方、鹿皮のBUCKSKINは撥水性があるので、雨の日のアイテムとしては最適なのです。ひょっとしてバックスキンは「雨に強い!」「いや、弱い!」という反する説を聞いてどちらが本当なのか迷ったことはありませんか。これで、その謎が解けたのではないのでしょうか。

しかし、どのような皮革製品にも共通の決してやってはいけない手入れ方法があります。それは雨や雪で濡れてしまった時に早く乾かそうと、**ドライヤーやアイロンを使用したり、ファンヒーターの熱風の吹き出し口で乾かそうとする行為です。すべての皮の特徴として濡れたところへ高熱が加わると、硬化して収縮する性質があります。革製品を乾かす際には、ヒーターの吹き出し口から少なくとも1メートルぐらいは遠ざけて乾かすよう心がけてください。**

定休日：日曜日・祝日 営業時間：7時30分～19時

〒496-0901 愛知県愛西市佐屋町新田1-6 TEL・fax0567-26-9880 <http://105-929.com>

発行者：東郷俊博

愛知県愛西市、弥富市、蟹江町、飛島村、津島市、集配致します。